

これまでに残胃癌に対する低侵襲手術（腹腔鏡手術、ロボット支援手術）を受けた患者さんへ

【過去の治療データ/検体等の調査研究への使用について】

神戸市立医療センター西市民病院 外科では＜残胃癌に対する低侵襲手術の有用性・妥当性の検討 多施設共同後ろ向き観察研究＞という臨床研究を行っています。

この研究は腹腔鏡手術やロボット手術といった低侵襲の手術の周術期成績や長期予後を開腹手術とひかくすることで、低侵襲手術の有用性・妥当性を検証することを主な目的としています。

そのため、過去に＜治療名等＞を受けた患者さんの＜利用する情報の項目（カルテ等の治療データ/検体（血液、尿、手術検体等）、レントゲン・CT画像のデータ等）＞※①を使用させていただきます。

○対象となる期間・収集期間

調査対象期間	西暦 2005 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 12 月 31 日
データ収集期間	審査委員会承認後から 2 年間

○調査研究の対象

これまでに根治を目的とした残胃癌手術を受けた患者さんの＜各種術前、術中、術後観察項目、転帰に関するデータ＞

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。

○個人情報の取り扱い

使用するデータは個人が特定されないよう、匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究成果は学会や科学専門誌などの発表に利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることなく、個人情報は守られます。

○利用の範囲

神戸市立医療センター西市民病院 外科  
＜共同研究機関等＞ 京都大学消化管外科

○本研究の利益相反について

この調査研究は、神戸市立医療センター西市民病院 外科の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合は、西暦 2021 年 6 月 30 日までにお手数ですが、下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

神戸市立医療センター西市民病院 外科  
研究責任者：姜貴嗣 / 連絡担当者：姜貴嗣  
TEL：078-576-5251（代）